

「自然・歴史・地域を守る砂留」

令和元年9月27日 堂々川ホテル同好会情報紙2019年度7号(創刊 177号)

1. 約1週間遅れの彼岸花がもうすぐ満開になります。9月の定例会では開花促進の草刈り等実施14人の参加でした。炎暑の中で伸び放題の草と花穂を分別して刈るのは困難な作業でした
2. 近大福山高校の高校生記者(ホテルの会員)が「瀬戸内高校生新聞; 9月12日の折り込み」に記事を書いて掲載してくれました。広島、岡山、香川、愛媛4県5校の記者はふるさとの魅力を発信しています。それには備後のお宝発見一砂留と地元住民の努力、自然とロマンあふれる堂々川一をテーマに国の登録有形文化財の砂留と新しく再発見した砂留の事も書いています
3. 9月17日 FM福山の取材で会員は彼岸花の植栽や今年の期待数字を話し、生放送されました
4. 9月19日 JICA の研修で中南米(アルゼンチン他の諸国8人)が来訪、水処理に関する人達です
5. 文化財の保存地域や林道に不法投棄が多発の為告発、警察の調査や巡視が入りました。
6. フォトで見る活動



昨年最初に咲いた赤色開花の場所



11月の開花を期待して! 植栽



ようやく咲いた黄色のリコリス



1番砂留の雑木除去



JICA 7か国のメンバー



5番砂留下方 24日はまだ蕾



御領林道入り口 エアコン他



JICA代表のモデルと花
9月19日現在の彼岸花



9月19日現在15色

7. 次回の定例会行事

○日時: ①令和元年10月13日(日) 8:30~ 集合 1番砂留東
・砂留整備・ごみ拾い

*ホテルや花の堂々川情報はホテル同好会の推奨ブログ「自然を尋ねる人」に随時詳しく載せている。

ホームページのアドレス <http://hotarunokawa.web.fc2.com/>

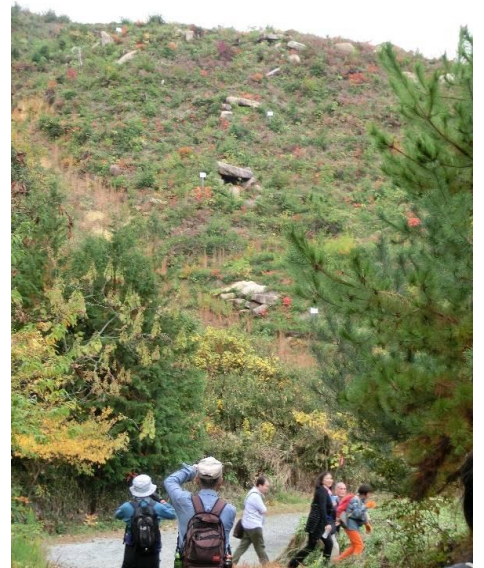
ユーチューブで彼岸花の記事が見られます。ホテルのホームページを開いて、バナーをクリック

堂々川ホテル同好会 発行責任者 土肥 携帯 090-2865-3486

古墳の丘が見えなくなる！？

通称「古墳の丘」を見上げると石室の入口がずらっと並ぶ光景に驚かされます。石室の列の脇を縫うように5分ほど登ると東は鴨方の遥照山から西は福山市御幸町の辺りまで、縄文時代からたくさんの方が暮らした御領遺跡のある神辺平野が見渡せます。紅葉の季節には、赤や黄色、緑と鮮やかな斜面に石室の並ぶ様子もインスタ映えしますが、お勧めは稲穂が実る時期の陽が傾き始める頃、明るく黄色に染まった平野の景色は見事です。

この美しく貴重な古墳の丘。数年のうちに見られなくなるのではと心配しています。真砂土の山を守るために丘にはヒノキが植林されています。木が育てば、御領古墳群の看板的存在である古墳の丘の列をなす古墳群の姿も、頂上からの古墳群と平野の景色もなくなってしまいます。



山を守りながら古墳の丘の素晴らしさを残す方法はないのでしょうか？



『これまで下御領J支群(仮称)をガイドする際は、大型の横穴式石室を有する下御領第13・14号の見学が中心で、他の古墳は「そこにも古墳がありますよ」と、藪の中に見える石室の石材をチラ見するだけで、ほぼスルーしていました。今回の整備により、全ての古墳が見学しやすくなり、各古墳の特徴や、緑の中にたたく古墳の風景などを楽しむことができるようになりました。そして、御領山が横穴式石室だらけであることを改めて実感できると思います。』(御領の古代ロマンを蘇らせる会ブログ記事より)



尾根一帯を見通せるように整備させていただいたことで、今まで見えなかった墳丘の形と大きさがよく分かるようになりました。面白いのは、ミステリーストーンとでもいうのでしょうか。3つの石を三角形に配置して

いる遺構が2か所あります、今回そこがマウンド状の地形になっているのがはっきり分かるようになりました。その南には平坦な台地とそれを囲むような配石も現れました。古墳群の中にある不思議な遺構。祭祀の場でしょうか。



秋は墳活の季節。ご家族やご友人とJ支群を歩いて謎解きしてみませんか。

御領古墳群や謎の三角の石の遺跡は文化財に違いありませんが、調査や研究がなされていないため、文化財の指定はありません。古墳群を守り伝えていくために私たちにできることは、御領古墳群を見えるようにしておく。そして、「御領山にスゴイのがある」とたくさんの人に伝えていくことだと思っています。叶うなら、近い将来本格的な調査が行われることを願っています。



御領の古代ロマンを蘇らせる会代表 端本てる子 寄稿